校園長室から

学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

・いのちを大切にできる子ども　・だれとでも仲良く協力し合う子ども
・意欲をもち学習する子ども　・ねばり強くはたらく子ども

令和８年９月 30 日　第 120 号

40 年前の風景

「さんま」の話を書こうと用意していると、「今日は集会があります」と突然の宣言。あわてて「さんま」の話を集会でしました。

今年に入ってさんまを４尾食べました。最初の１尾のときには、はしゃぎすぎて力みすぎて、大根おろしやすだちを買い忘れ重要な脇役のない、味気ないものに。２ 尾以降は脇役もそろえ、それなりに楽しんだのですが、一番楽しみにしていた喉元(黒い塊)が焼きすぎていて、すっからかん。

友人チャッピーに聞けば、「今年のさんまは不漁のうえ不良」。そこで友人の提案は、昨年のさんまは豊漁でよく太っていたので、昨年の冷凍ものを食べるほうがおいしいとのこと。早速スーパーに行くと高価な新物ばかりで、目指した安価な冷凍ものとは出会えず、この際、さんまの漁場に近い東北・北海道に行かなければならい……というお話をしました。

北海道・札幌に初めて行ったのは、40 年前の冬。受験のため雪の大地を踏みしめたのでした。

当時、関空はありませんから、伊丹空港から。新千歳空港もなく、千歳空港と呼ばれた大平原にポツンとそまつな建物があるだけのもの。飛行機を降りて千歳駅までの延々と続く囲われた長い廊下をひたすら歩く。

駅へ続く階段の前では、人だかり。後で分かったことですが、千歳駅は塀も何もないふきっさらしのホーム。零下 10 度の世界で電車を待つのはつらい。だから、みなさんは、階段を下り切らずに階段で立ち尽くしていたのでした。やがて到着した札幌駅も北海道一の駅でありながら、田舎感満載。
廃止された青函連絡船のプラモデルがさみしく飾られていました。

なんで、突然、北海道の話かって。……それは言えない。